

- ▶ 鶴岡市では、森林経営管理制度における経営に適さない森林の整備手法や、森林の未利用資源の有効活用など、今後の森林整備を進めるための研究プロジェクトを令和2～7年度の予定で、山形大学農学部と山形県庄内総合支庁と鶴岡市の共同で実施している。
- ▶ 令和3年度は、鶴岡市の市有林を活用した研究プロジェクトを以下のとおり実施。
  - ・ 市有林の現状と今後の森林管理基準・整備手法の検討
  - ・ 林床低木類の多目的利用に関する研究
  - ・ 市民参加型の自生広葉樹人工造林用苗木育成の試み
- ▶ 令和4年度以降においては、3つのプロジェクトでそれぞれの計画を基に、更に研究を進めて行くこととしている。

## □ 事業内容

### 1 森林整備共同研究プロジェクト事業

【事業費】2,822千円（全額譲与税）

【実績】

- ① 今後の森林管理基準・整備手法の検討（R2～R6の2年目）
  - ・ 市有林16箇所の現状調査
  - ・ 間伐率の違うモデル林の設置（30%、50%、70%）間伐0.6ha
- ② 林床低木類の多目的利用に関する研究（R3～R7の1年目）
  - ・ 市有林内の刈払い0.08ha
  - ・ オオバクロモジの試料採取と再生試験地の設置
  - ・ オオバクロモジの精油と成分分析
- ③ 自生広葉樹人工造林苗木育成の試み（R3～R7の1年目）
  - ・ 市有林内の試験地の整備、樹種・苗木方式の検討
  - ・ 市民参加型の環境観察・再生活動



(①調査状況)



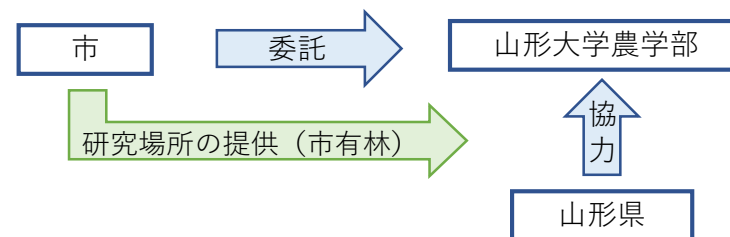
(②試料採取状況)



(③試験地の整備)

## □ 事業スキーム

### 1 森林整備共同研究プロジェクト事業



## □ 工夫・留意した点

- ・ 市有林を研究のフィールドとして提供。
- ・ 森林経営管理制度による「経営に適さない森林」を効率的・経済的に管理するための基準を作成。
- ・ 山形大学農学部と山形県庄内総合支庁森林整備課、鶴岡市の三者共同で実施。

## ◇ 基礎データ

①令和3年度譲与額	64,899千円
②私有林人工林面積（※1）	16,986ha
③林野率（※2）	69.4%
④人口（※3）	122,347人
⑤林業就業者数（※4）	128人

※1、2：「2020農林業センサス」より、※3：「R2国勢調査」より、  
 ※4：「H27年国勢調査」より

- ▶ 酒田市では、林業就業者の高齢化が著しい上、担い手の確保が困難な状況になっている。
- ▶ そこで、森林整備を促進していくに当たり、林業に従事する新規就業者の確保や高度な技能・技術を持った人材を育成・確保するため、森林環境譲与税を活用し、新規就業者への作業用品購入経費の支援、林業技術者への高度林業技術取得するため受講費用の支援する取り組みを行うことで、より森林整備が進む環境づくりに取り組んでいる。
- ▶ 令和3年度においては、新規林業従事者2名の林業機械・安全装備等の作業用品購入経費に対して補助を行った。

## □ 事業内容

### 1 新規林業就業者確保対策事業

- ・ 新規林業従事者の作業用品の購入に要する経費の一部を支援
- ・ 新規就業者を募集するために開催する合同企業説明会等への参加費用等の一部支援

【事業費】 325千円（全額譲与税）

【実績】 ・ 1事業体、新規林業従事者2名に対して林業機械・安全装備等購入経費への支援を行った。

### 2 林業技術者育成対策事業

- ・ 専門的な知識や技術を有する人材の育成のため、研修会・講習会に参加するための受講経費、旅費等の一部を支援

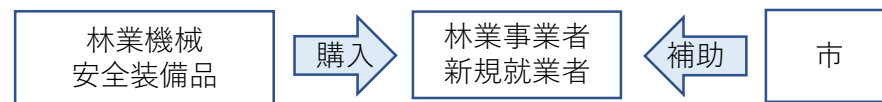


(事業1：事業により購入補助した作業用品)



## □ 事業スキーム

- 1 新規林業就業者確保対策事業（用品購入支援）の実施



## □ 工夫・留意した点

- ・ 事業主と従事者とで話し合いながら、より安全で快適な施業実施のため、予算の範囲内でより高性能な林業機械、最新鋭の防護服等を導入してもらうように働きかけた。今後も安全な林業をPRし、新規就業者の獲得につなげていきたい。

## ◇ 基礎データ

①令和3年度譲与額	42,437千円
②私有林人工林面積(※1)	9,167ha
③林野率(※2)	59.9%
④人口(※3)	100,273人
⑤林業就業者数(※4)	112人

※1、2：「2020農林業センサス」より、※3：「R2国勢調査」より、

※4：「H27年国勢調査」より

- ▶ 遊佐町では、経営管理が行われていない森林が大部分を占めており、森林の持つ公益的機能が発揮されていない状況と考えられるため、森林環境譲与税を財源として、意向調査対象森林の抽出及び経営管理に適した森林を抽出し、林業経営者への経営委託を推進していく方針。
- ▶ 令和3年度においては
  - ・ 森林簿、林地台帳等の台帳データや伐採届、森林計画の有無等の施業履歴を基に意向調査対象森林の抽出
  - ・ 対象森林の中から施業に適した森林に対し現時点での順位付けを実施した。
- ▶ 令和4年度においては、山形県を実施主体として共同実施する航空レーザ測量に参画し、令和5年度の測量データの解析後に随時意向調査を実施し、森林整備を進めていくこととしている。

## 事業内容

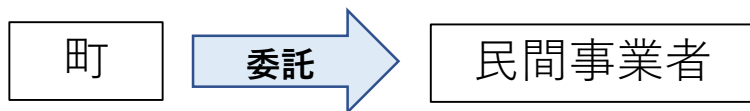
### 1 遊佐町森林経営管理事業全体計画作成業務

- ・ 今後意向調査を実施していくにあたり、対象とする森林を各種データ等から抽出し、経営管理に適した森林の順位付けを委託により実施。

【事業費】 2,915千円（全額譲与税）

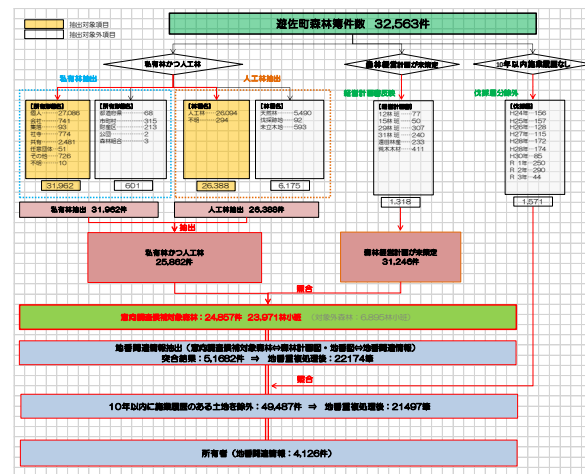
【実績】 意向調査対象森林（21,497筆）の抽出及び現時点での施業に適した森林の順位付けを字界単位で行った。

## 事業スキーム



## 工夫・留意した点

- ・ 所有者の特異性などから初期の仕様に当てはまらない森林に関して、随時協議を実施することで、枠組みの再検討も進めた。



(抽出フロー図)

## 基礎データ

①令和3年度譲与額	9,989千円
②私有林人工林面積（※1）	3,366ha
③林野率（※2）	53.5%
④人口（※3）	13,032人
⑤林業就業者数（※4）	7人

※1、2：「2020農林業センサス」より、※3：「R2国勢調査」より、  
 ※4：「H27年国勢調査」より